

地域密着型金融推進計画

当行では、平成17年度～平成18年度を計画期間とする「地域密着型金融推進計画」を策定し、地域の中小企業の皆さまの経営相談や事業再生に関する支援に向けて様々な施策に取り組んでおります。

「地域密着型金融推進計画」の概要

本計画は、「事業再生・中小企業金融の円滑化」、「経営力の強化」、「地域利用者の利便性向上」を柱に、地域密着型金融を進める方針や具体的な施策について定めたものです。

当行では、「銀行はサービス業である」という原点に立ち、地域金融機関として、より一層地域の皆さまにお役に立てるよう、着実に本計画に取り組んでおります。



■「地域密着型金融の機能強化」の3つの柱の重点項目

1 事業再生・中小企業金融の円滑化

- 企業ステージに応じた問題解決型サービスをさらに充実
- 人材育成、行内ノウハウ・情報の蓄積継続
- 外部機関との連携関係を充実、強化

地域密着型金融の機能強化

2 経営力の強化

- 「業務改善計画」に基づき業務運営の基本である「内部管理態勢」を速やかに強化
- 収益管理、信用リスク管理のさらなる高度化
- ITを活用し利用者の利便性を向上

3 地域利用者の利便性向上

- 利用者の視点に立った分かりやすい情報開示
- 「お客さま、株主さま、地域社会、職員」の満足度向上に向け、利用者の意見を経営へ反映

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（平成17年4月～平成18年9月）

当行では、本計画を通じて「お客さま、株主さま、地域社会、職員」の各ステークホルダーの満足度を高めることにより、企業価値を高めていくことを目標としております。この目標達成に向けて、本計画に基づき、平成17年4月から平成18年9月ま

でに予定しておりました各施策について、ほぼ当初計画通りに取り組んでまいりました。主な取り組み状況は以下のとおりとなっております。今後も引き続き地域密着型金融を進め、地域の皆さまのニーズに的確にお応えできるよう努めてまいります。

地域密着型金融推進計画の3つの柱の進捗状況

事業再生・中小企業金融の円滑化

- ◎通信講座の受講や外部研修等を通じた人材育成、外部専門機関との連携強化による情報集積、法人開拓プロジェクトチームによる提案型融資の営業体制を強化するなど、取引先企業の事業再生・経営改善に向けた支援態勢の強化に引き続き取り組みました。
- ◎中小企業の皆さまの経営支援の一環として、資金調達手段の多様化に向けて取り組みました。

経営力の強化

- ◎業務改善計画を経営の最重要課題の一つに位置づけ、コンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化等に全力で取り組むとともに、各施策の定着状況を監査しました。

- ◎収益管理態勢の強化に向けて、各種リスクの計量システム導入や信用格付制度の一層の精度向上に取り組みました。
- ◎事務システム委員会等において、利用者の利便性や安全性を高めるため、次期オンラインシステムや偽造キャッシュカード問題への対応について検討しました。

地域利用者の利便性向上

- ◎情報開示資料が充実した分かりやすい内容になるよう、開示項目の追加や開示方法の見直しに取り組みました。
- ◎「利用者満足度アンケート調査」の分析と取りまとめを行い、利用者の声を業務改善に反映させるとともに、アンケート結果や改善項目について一般に公表しました。

主な計画目標の進捗状況

計画目標

ファンド運営会社への紹介件数
5社以上（平成18年度末迄）

進捗状況

- ファンド運営会社への紹介実績は6社となり、当初計画目標を達成しました。

計画目標

500先以上の取引先へ
経営改善支援を実施（平成18年度末迄）

進捗状況

- 平成18年9月末迄に取引先464先を選定し、経営支援に取り組んだ結果、本計画期間中（平成17年4月～平成18年9月）に69先の債務者区分がランクアップしました。

「地域密着型金融推進計画」については、当行ホームページにより詳しく掲載しております。